

男女共同参画に関する
高校生の意識調査
(調査結果の概要)

令和2年1月

長野県県民文化部
人権・男女共同参画課

目 次

1 調査の概要

2 調査結果

◆ 調査項目別結果

(1) 用語や制度の認知度について	……	1
(2) 世の中の男女平等について	……	2
(3) 性別役割分担意識について	……	4
(4) 自己肯定感について	……	5
(5) 家庭での役割分担について	……	8
(6) 進路選択等について	……	10
(7) 理想の働き方について	……	11
(8) 育児と就業継続の意思について	……	12
(9) 男女平等に関する教育について	……	12
(10) 男女共同参画社会について	……	15

3 調査票	……	16
-------	----	----

男女共同参画に関する高校生の意識調査の概要

1 目的

令和3年度を初年度とする「第5次長野県男女共同参画計画」を策定する基礎資料を得るとともに、高校生が男女共同参画の意識を持ち、将来に向けた進路選択が可能となるような施策の資料とするため、長野県男女共同参画社会づくり条例第22条の規定に基づき、男女共同参画に関する高校生の意識調査を実施する。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 長野県全域
- (2) 調査対象 公立高校3年生の男女2,000人程度
- (3) 抽出方法 学校の規模、学科等を勘案し、4通学区について各通学区概ね500名となるように学校を選択
- (4) 調査方法 調査協力高校へ郵送により用紙を配布、回収
- (5) 調査時期 令和元年10月～11月

3 調査項目

- (1) 用語や制度の認知度について
- (2) 世の中の男女平等について
- (3) 性別役割分担意識について
- (4) 自己肯定感について
- (5) 家庭での役割分担について
- (6) 進路選択等について
- (7) 理想の働き方について
- (8) 育児と就業継続の意思について
- (9) 男女平等に関する教育について
- (10) 男女共同参画社会について

4 回答者数

(人)

総数	1,910
女子	965
男子	901
答えたくない・その他	44

※回答者数全体には、性別無記入及びその他回答者数を含む。

男女共同参画に関する高校生の意識調査 調査項目別結果

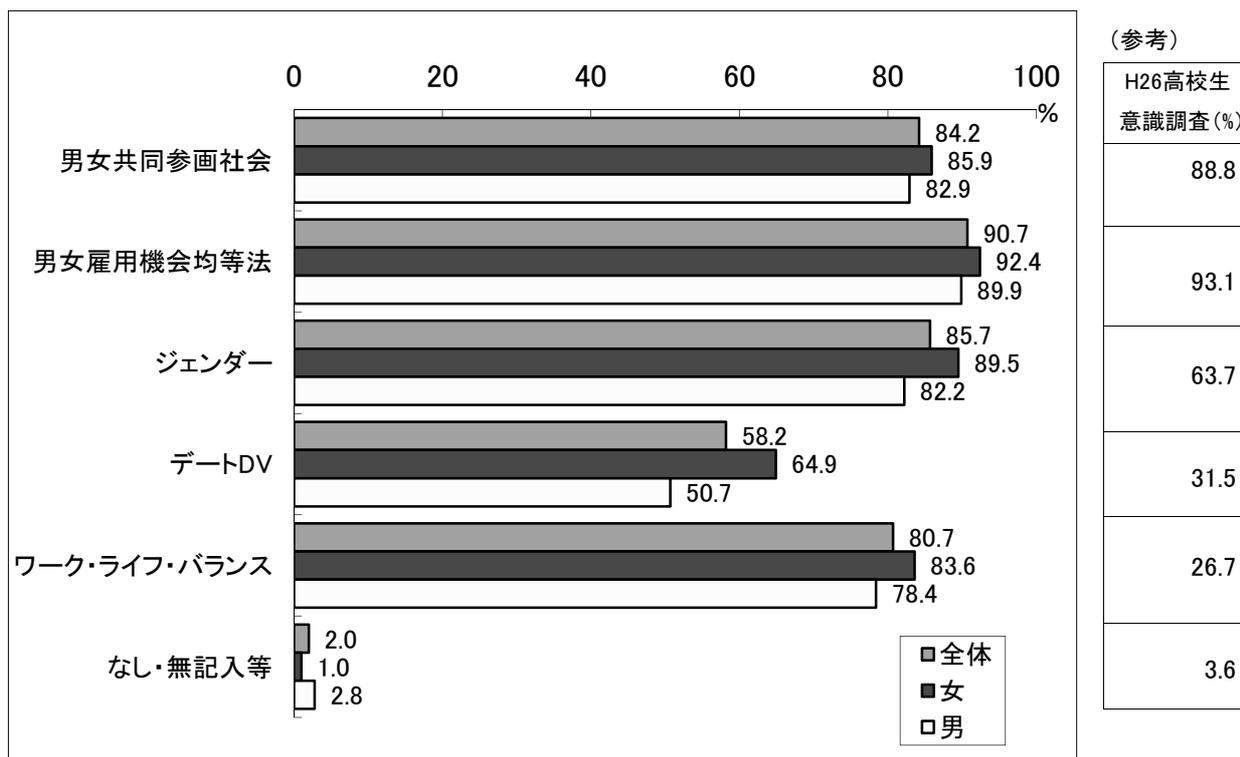
(1) 用語や制度の認知度について

◆次にあげる言葉やことがらについて、知っているか、または聞いたことがありますか。

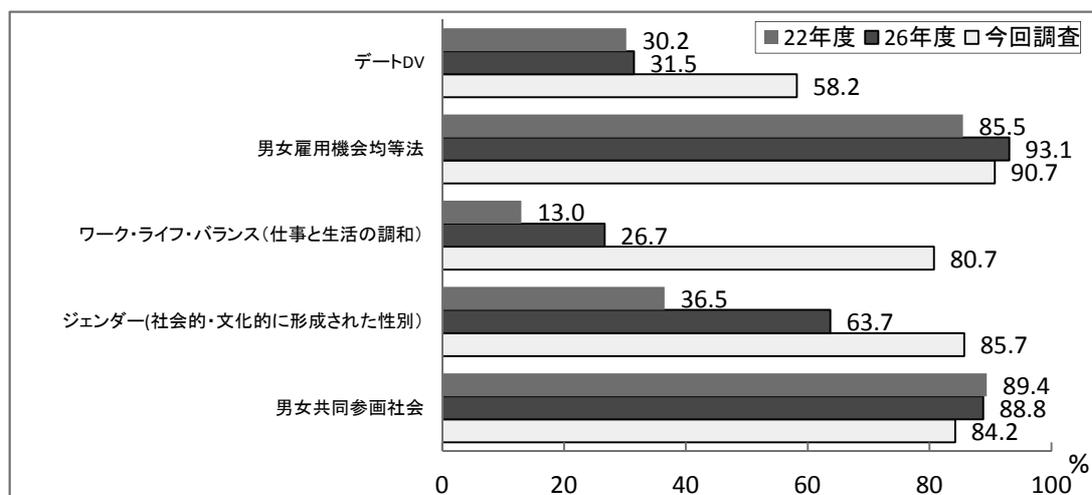
－「デートDV」の認知度は6割弱－

○「知っている」または「聞いたことがある」割合は、「デートDV」が最も低い58.2%。

○前回の調査結果と比較してみると、「ワーク・ライフ・バランス」（26.7%→80.7%）と「デートDV」（31.5%→58.2%）を挙げた者の割合が上昇しています。



◇過去調査との比較（「知っている」という回答の割合）



(2) 世の中の男女平等について

男女共同参画に関する高校生の意識調査の概要

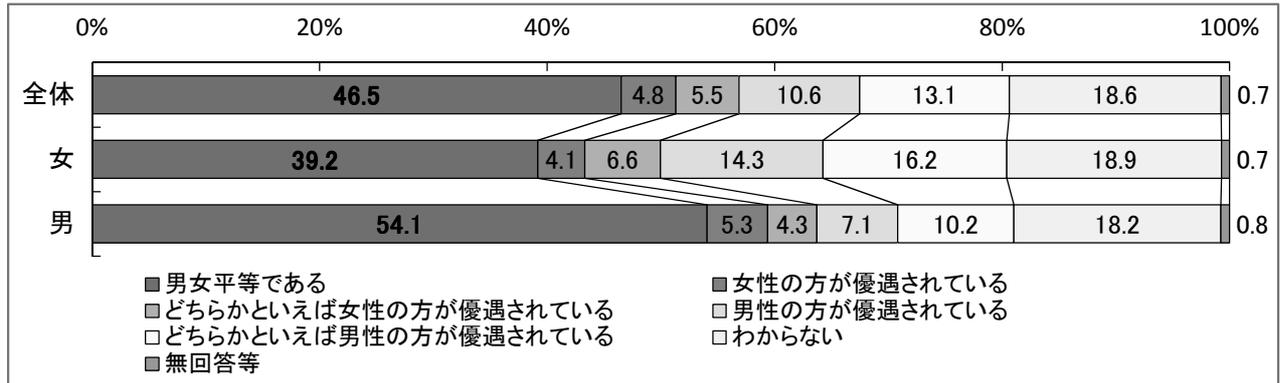
一男女とも「学校生活」で最も高い一

○ 「男女平等」と回答した割合は、「学校生活」で64.3%、「家庭生活」で46.5%、「法律や制度の上」で34.8%、「社会全体として」で20.8%となっています。

○ 「男女平等」と回答した男女別の割合では、「学校生活」を除く3つの調査項目で女子が男子より約9～15ポイント少なくなっています。

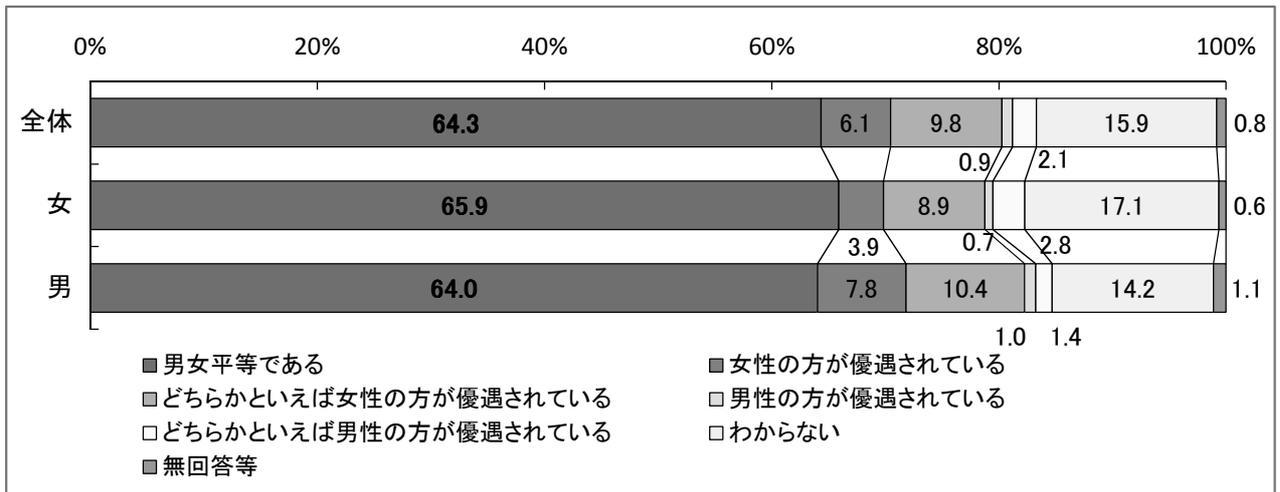
○ 男女差が最も大きいのは、「家庭生活」において「(どちらかといえば) 男性の方が優遇されている」割合で、女子30.5%、男子17.3%で13.2ポイントの差となっています。

①家庭生活



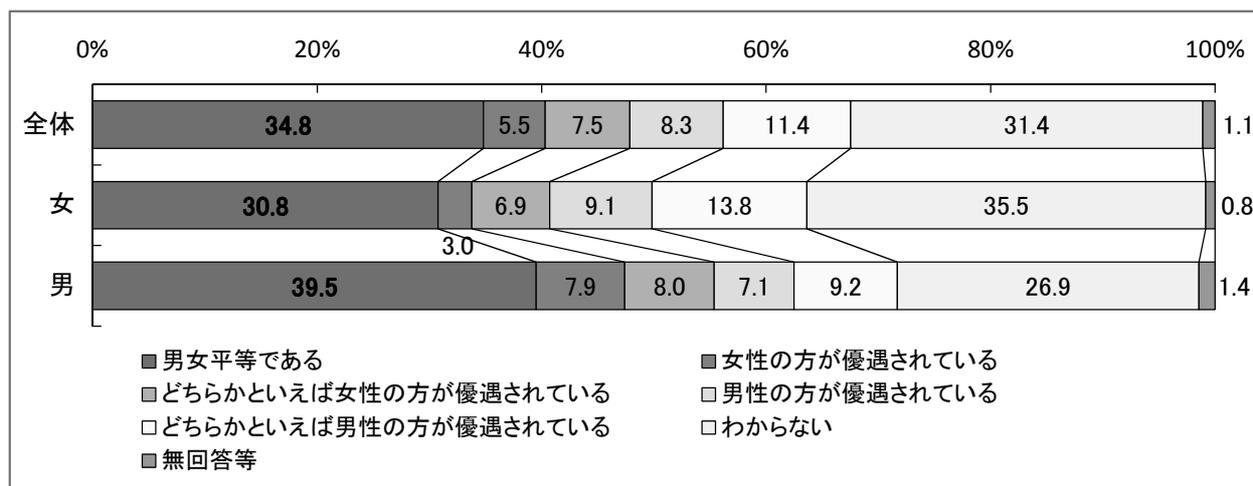
	ア 男女平等	イ 女性優遇	ウ どちらかといえば女性優遇	エ 男性優遇	オ どちらかといえば男性優遇	カ わからない	キ 無回答等
R1	46.5	4.8	5.5	10.6	13.1	18.6	0.7
H26	49.5	3.2	6.5	8.8	12.6	18.2	1.3

②学校生活



	ア 男女平等	イ 女性優遇	ウ どちらかといえば女性優遇	エ 男性優遇	オ どちらかといえば男性優遇	カ わからない	キ 無回答等
R1	64.3	6.1	9.8	0.9	2.1	15.9	0.8
H26	67.4	6.3	9.9	0.8	1.4	12.8	1.4

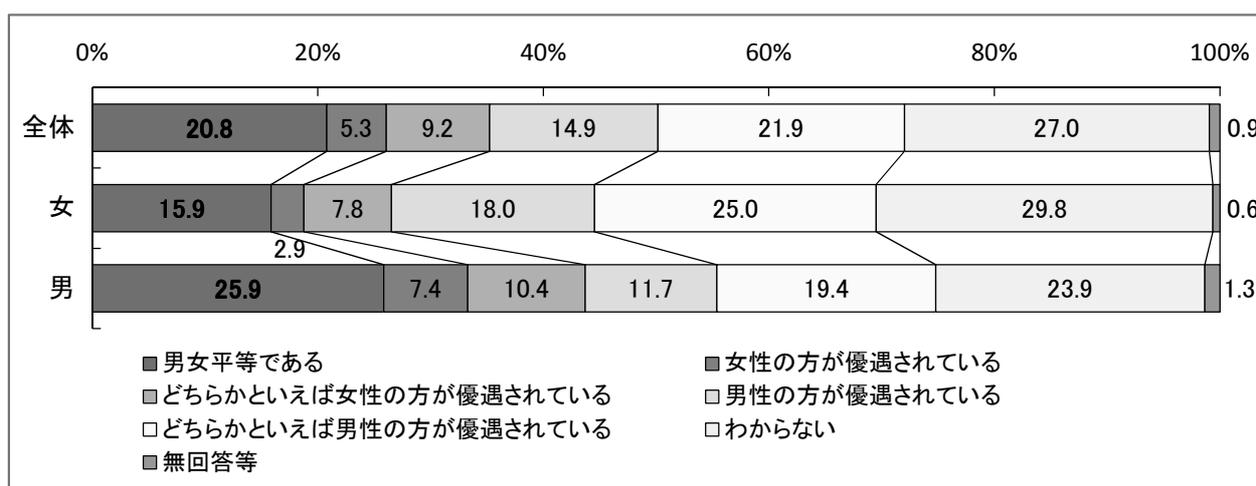
③法律や制度の上



(参考) H26高校生意識調査(%)

	ア 男女平等	イ 女性優遇	ウ どちらかといえば女性優遇	エ 男性優遇	オ どちらかといえば男性優遇	カ わからない	キ 無回答等
R1	34.8	5.5	7.5	8.3	11.4	31.4	1.1
H26	37.3	4.1	6.8	8.0	12.8	29.5	1.6

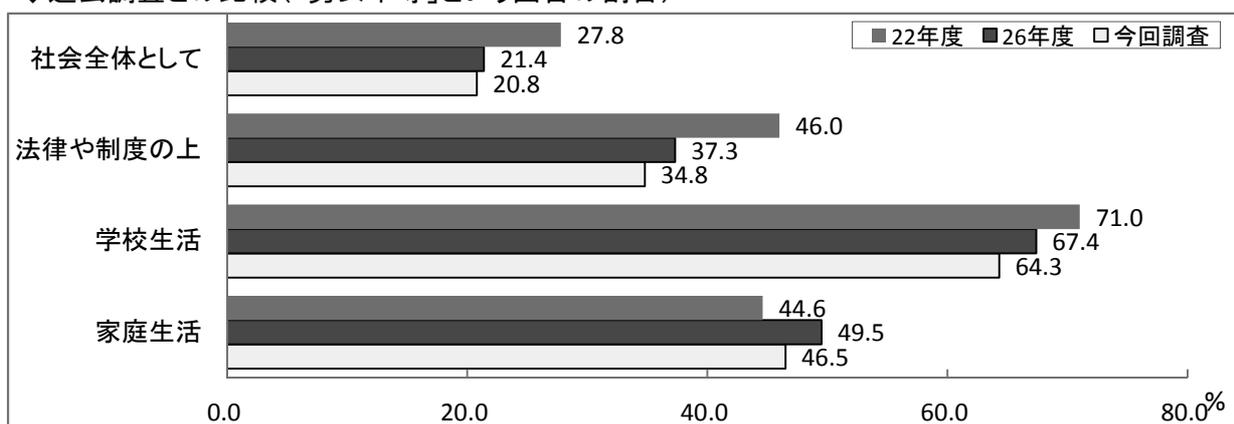
④社会全体として



(参考) H26高校生意識調査(%)

	ア 男女平等	イ 女性優遇	ウ どちらかといえば女性優遇	エ 男性優遇	オ どちらかといえば男性優遇	カ わからない	キ 無回答等
R1	20.8	5.3	9.2	14.9	21.9	27.0	0.9
H26	21.4	5.1	7.8	13.9	24.6	25.7	1.7

◇過去調査との比較(「男女平等」という回答の割合)



(3) 性別役割分担意識について

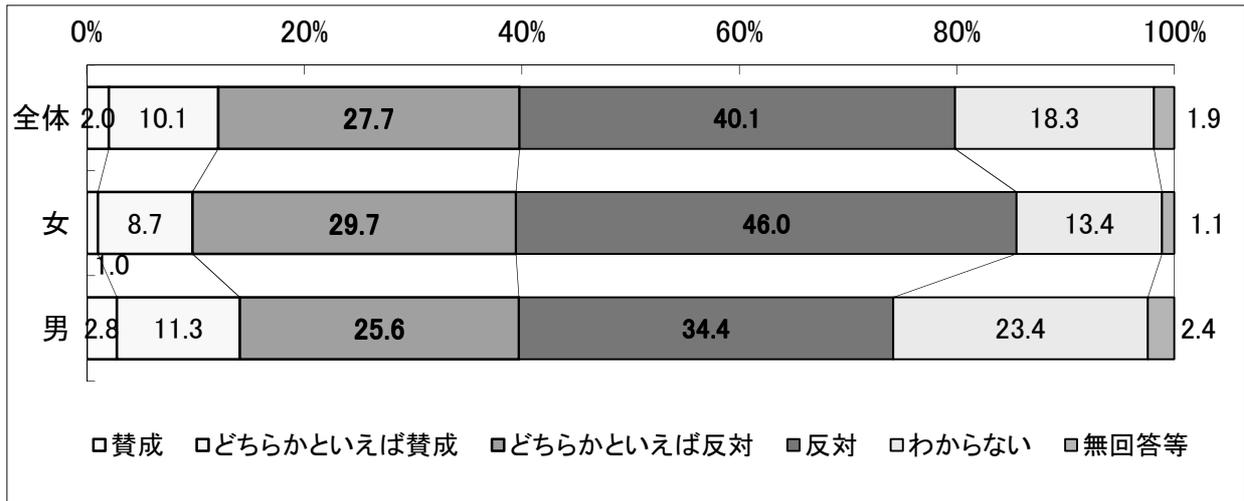
◆「男は仕事、女は家庭」という、性別によって役割を固定する考え方について、あなたはごどう思いますか。

ー「(どちらかといえば) 反対」の割合は7割弱ー

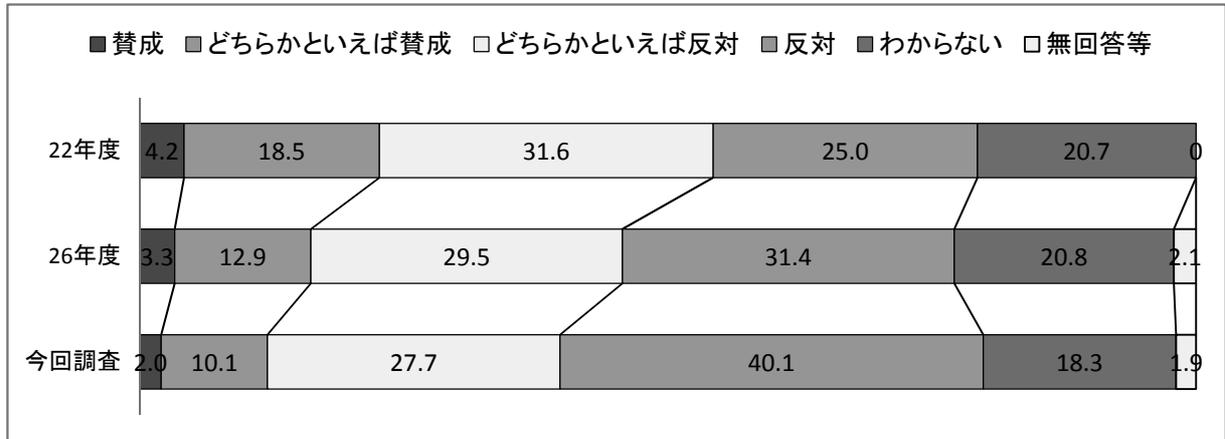
○「男は仕事、女は家庭」という性別によって役割を固定する考え方について、「(どちらかといえば) 反対」という割合は67.8%となっています。

○男女別では、女子75.7%、男子60.0%で、女子が男子より15.7ポイント差で高くなっています。

○前回の調査結果と比較してみると、「(どちらかといえば) 反対」という割合は、60.9%から67.8%に上昇しています。



◇過去調査との比較



(4) 自己肯定感について

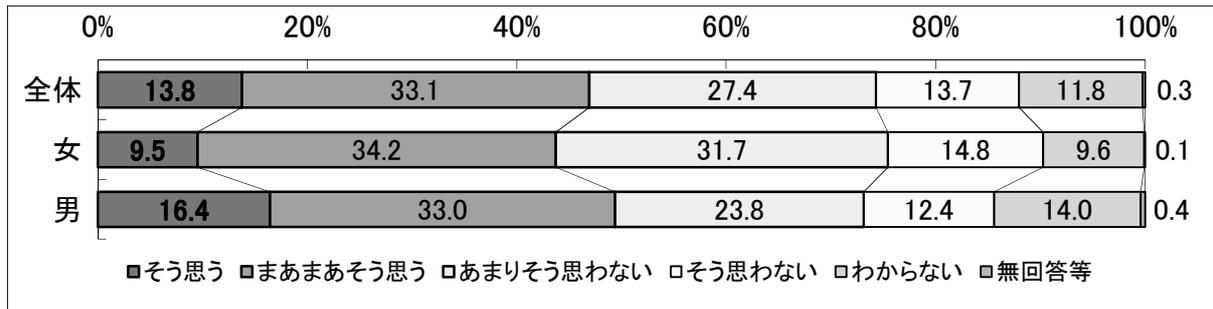
◆あなたは今の自分や社会のことをどう考えていますか。

－「自分のことが好きだ」は、男女とも5割弱－

○「(まあまあ) そう思う」割合で最も高いのは、「世の中に役に立つことがしたい」で86.2%、最も低いのは「自分のことが好きだ」で46.9%、他の項目は約7～9割で肯定的な回答が多くなっています。

○男女別では、「自分のことが好きだ」(女子43.7%、男子49.4%)以外の項目では、女子が男子より肯定的な回答が多くなっています。最も男女差が大きいのは、「世の中に役に立つことをしたい」で、12.1ポイント差となっています。

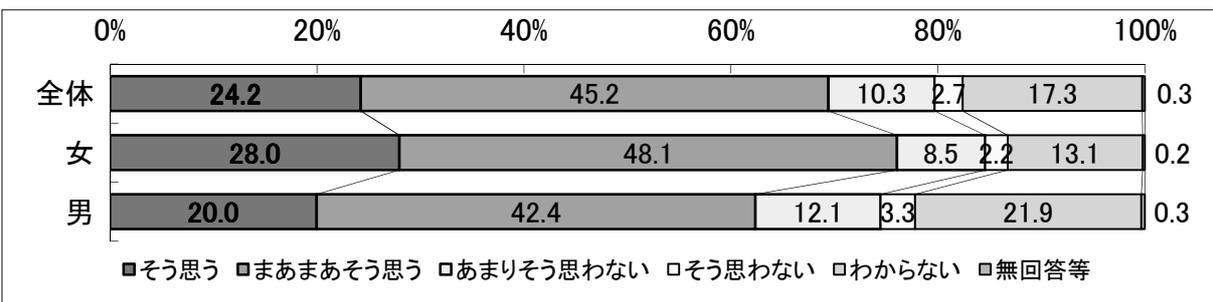
①自分のことが好きだ



(参考) H26高校生意識調査(%)

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答等
R1	13.8	33.1	27.4	13.7	11.8	0.3
H26	9.2	29.8	30.7	15.6	14.1	0.8

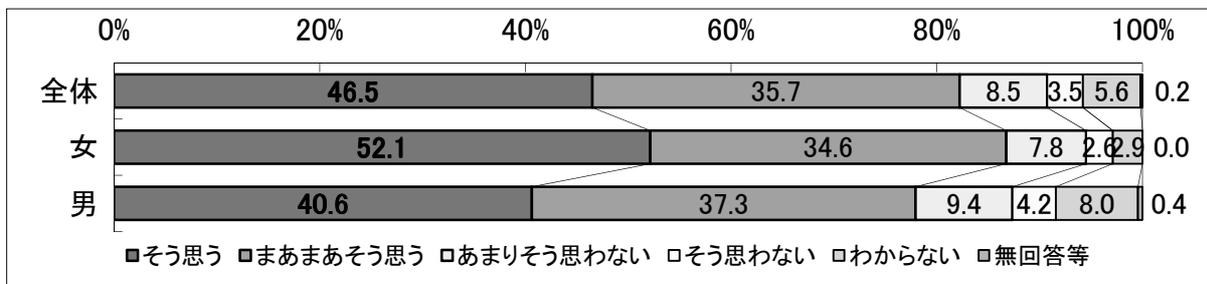
②自分はまわりの人から大切にされている



(参考) H26高校生意識調査(%)

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答等
R1	24.2	45.2	10.3	2.7	17.3	0.3
H26	16.0	48.1	12.2	3.5	19.5	0.7

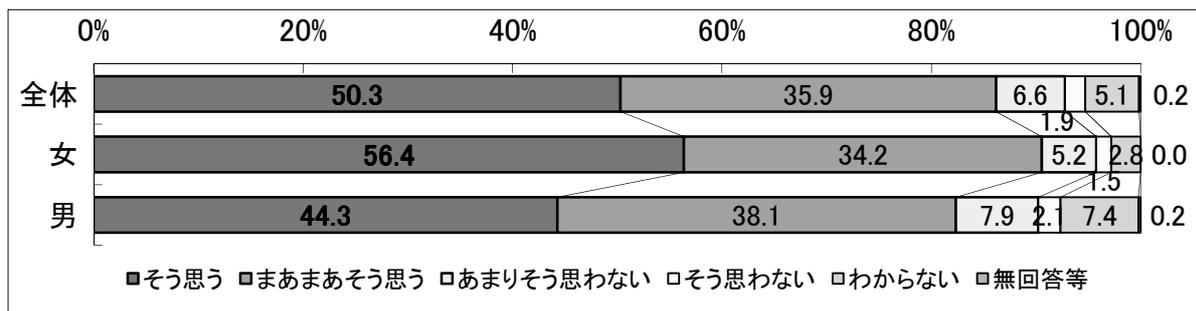
③悩みや心配事を相談できる人がいる



(参考) H26高校生意識調査(%)

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答等
R1	46.5	35.7	8.5	3.5	5.6	0.2
H26	41.1	38.8	8.8	3.9	6.6	0.7

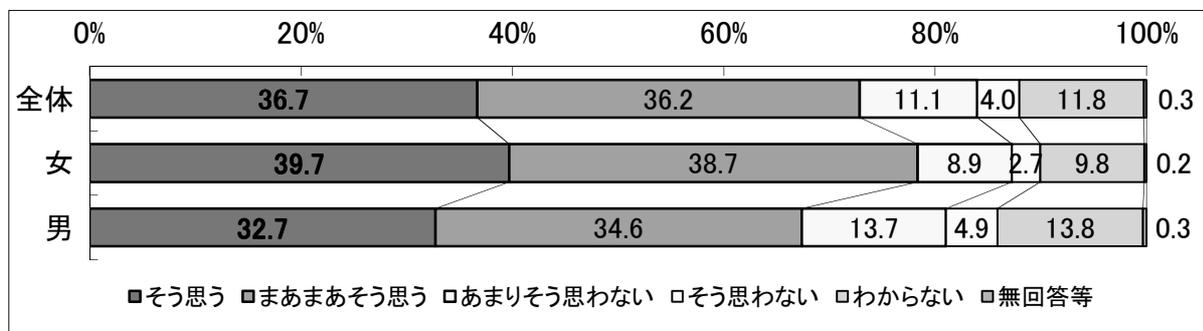
④世の中の役に立つことをしたい



(参考) H26高校生意識調査(%)

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答等
R1	50.3	35.9	6.6	1.9	5.1	0.2
H26	49.8	37.2	5.2	1.9	5.4	0.5

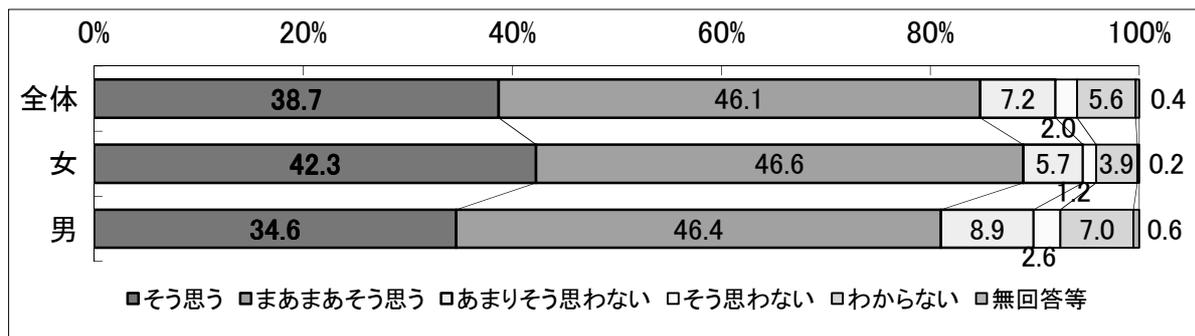
⑤自分の夢は努力すればかなう



(参考) H26高校生意識調査(%)

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答等
R1	36.7	36.2	11.1	4.0	11.8	0.3
H26	34.3	38.0	11.3	4.0	11.7	0.6

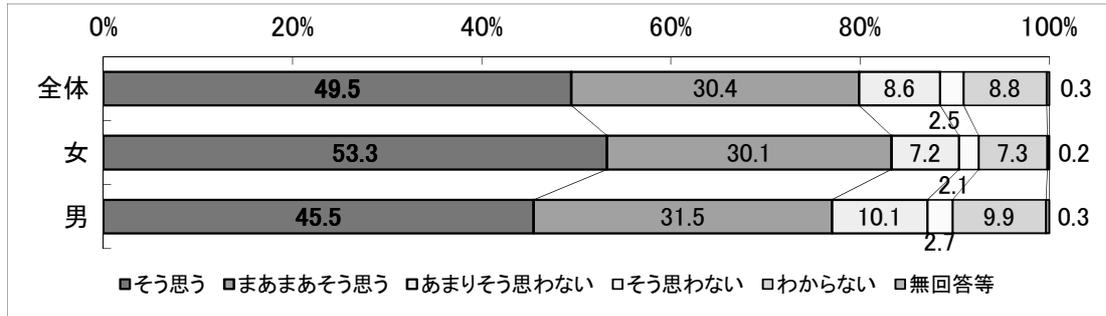
⑥大変なことがあってもがんばろうと思う



(参考) H26高校生意識調査(%)

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答等
R1	38.7	46.1	7.2	2.0	5.6	0.4
H26	36.1	48.7	6.7	2.3	5.3	0.8

⑦世の中には尊敬できる大人がいる



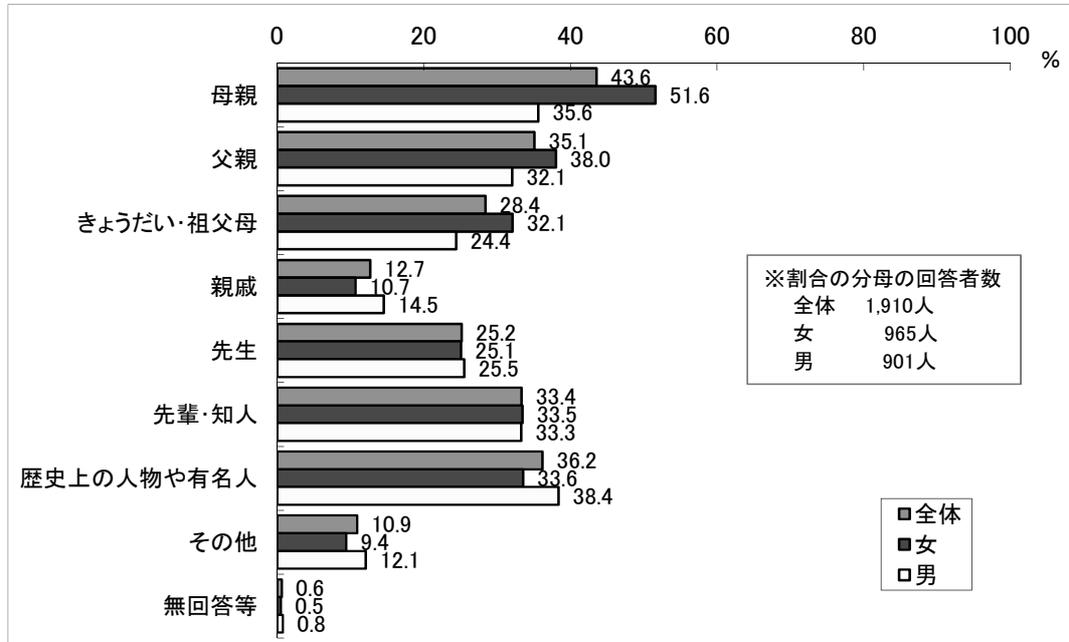
(参考) H26高校生意識調査(%)

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答等
R1	49.5	30.4	8.6	2.5	8.8	0.3
H26	48.9	30.1	8.9	2.4	8.7	1.0

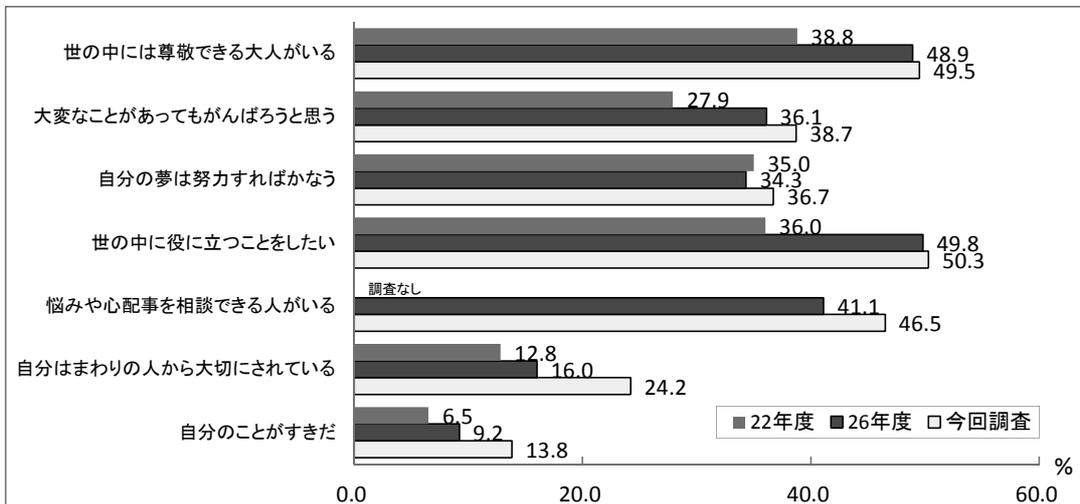
⑦ー「1そう思う」、「2まあまあそう思う」と答えた人にお聞きします。

尊敬できる大人は誰か当てはまる番号をすべて選んでください。

○「尊敬できる大人は誰か」について、男女差が大きいの「母親」とする割合で16.0ポイント差で女子が高く、「歴史上の人物や有名人」とする割合が4.8ポイント差で男子が高くなっています。



◇過去調査との比較(「そう思う」という回答の割合)



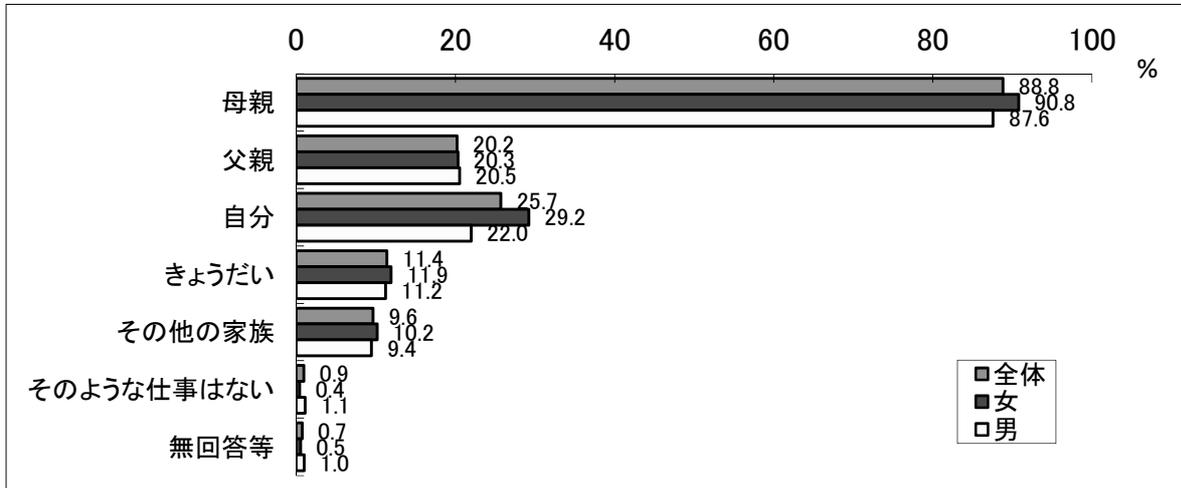
(5) 家庭での役割分担について

◆あなたの家庭では、次にあげるようなことを主に行っているのは誰ですか。

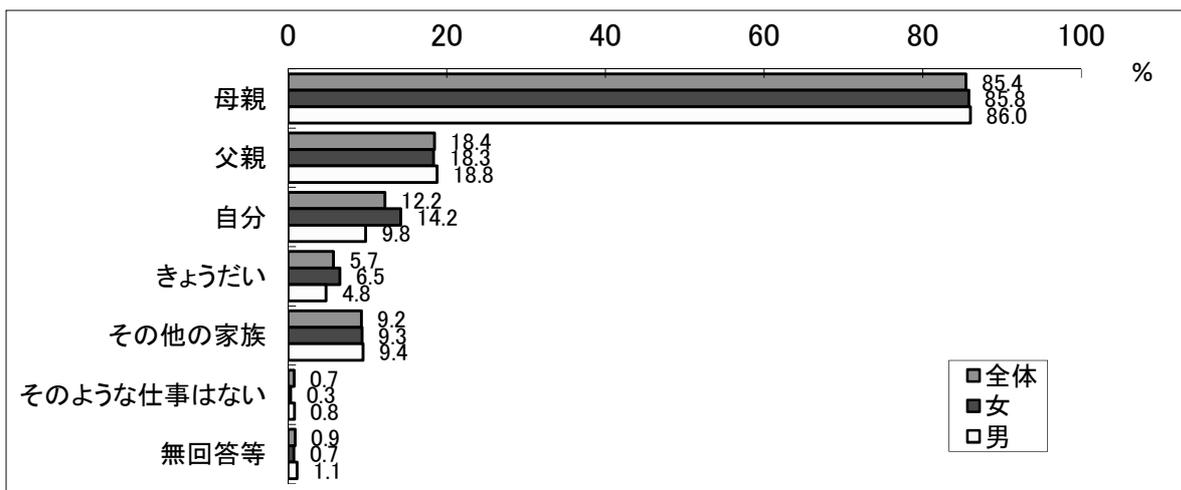
－「すべての項目で「母親」が最も高い－

○ すべての調査項目で家庭で主に行っているのは「母親」が最も高く、どの項目も「自分」と「父親」の行っている割合に大きな差は見られない結果となっています。

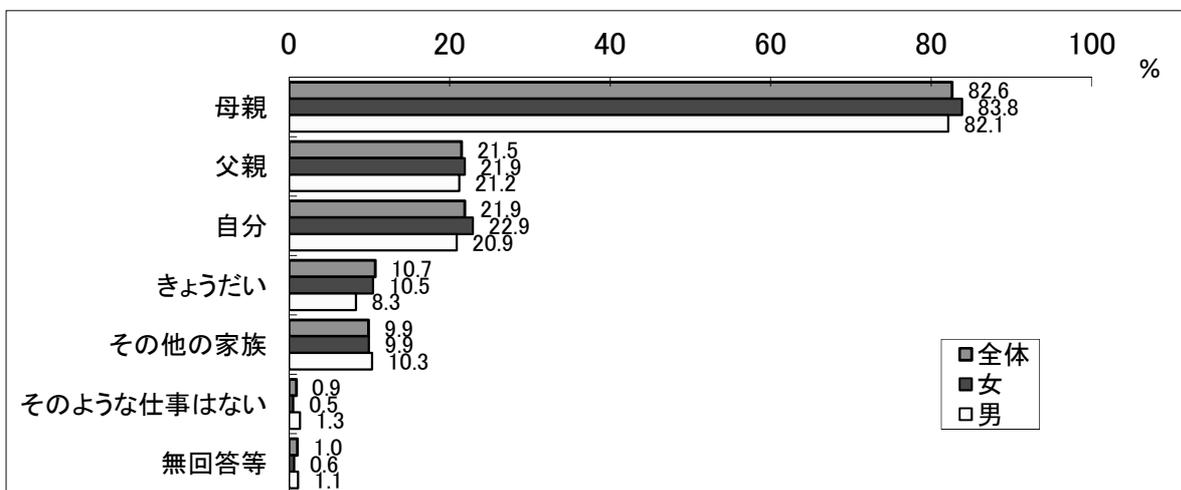
① 食事の用意・後片付け



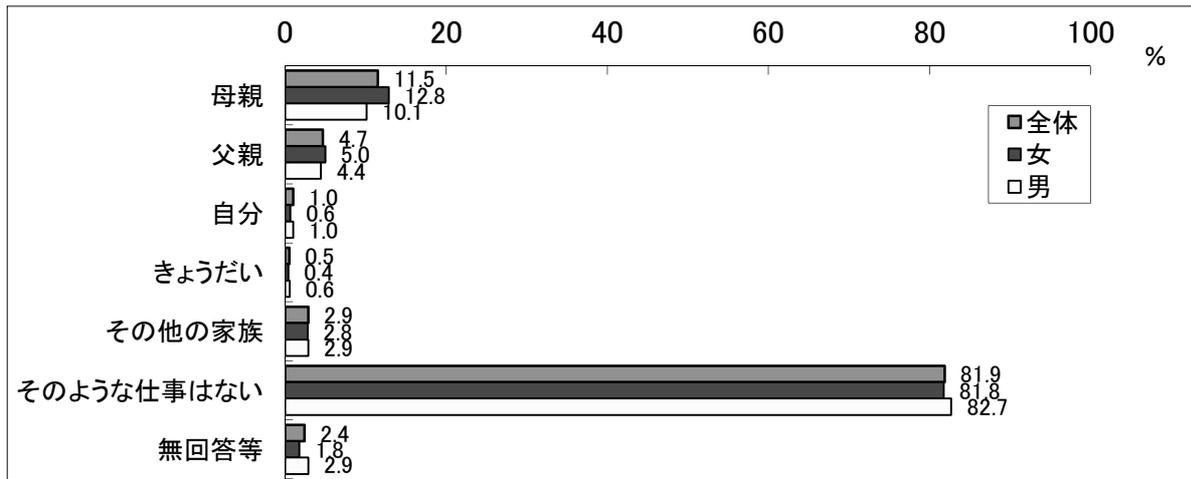
② 洗濯



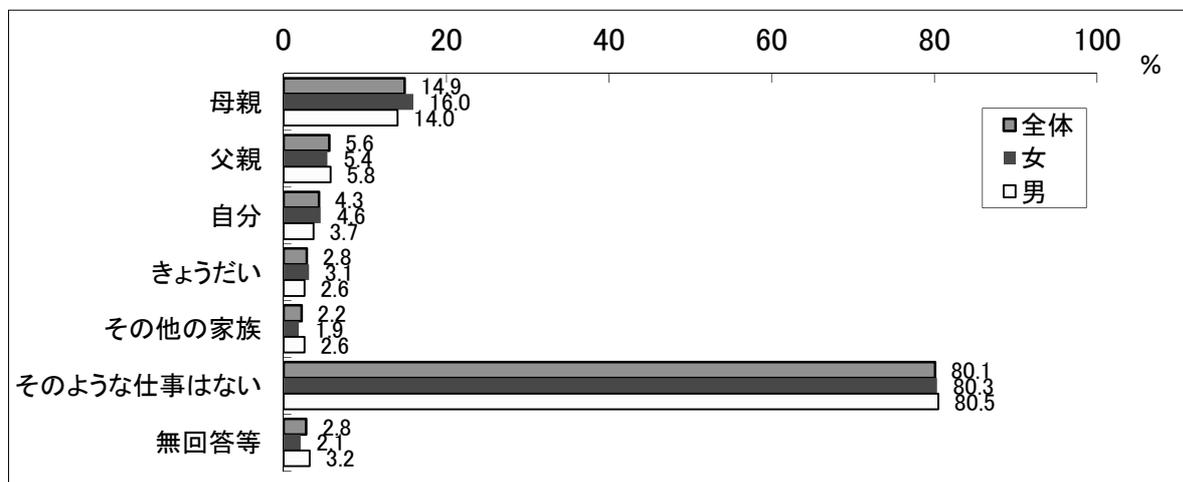
③ 掃除



④介護



⑤若い子どもの世話



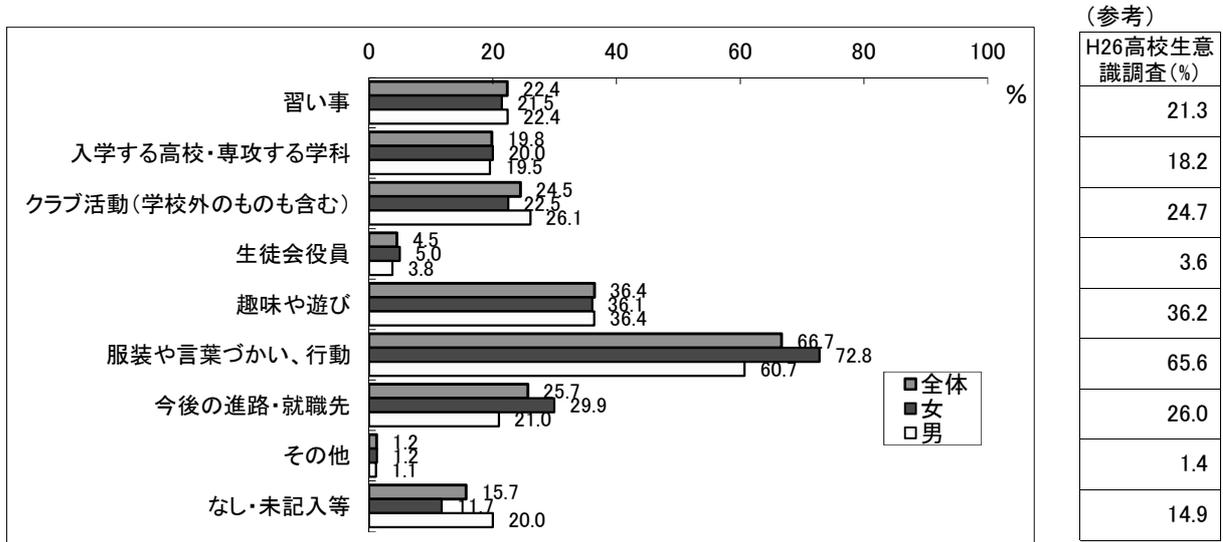
(6) 進路選択等について

◆あなたが次のことを考えるとき、「男だから」、「女だから」といった考え方が影響する(または影響した)と思いますか。

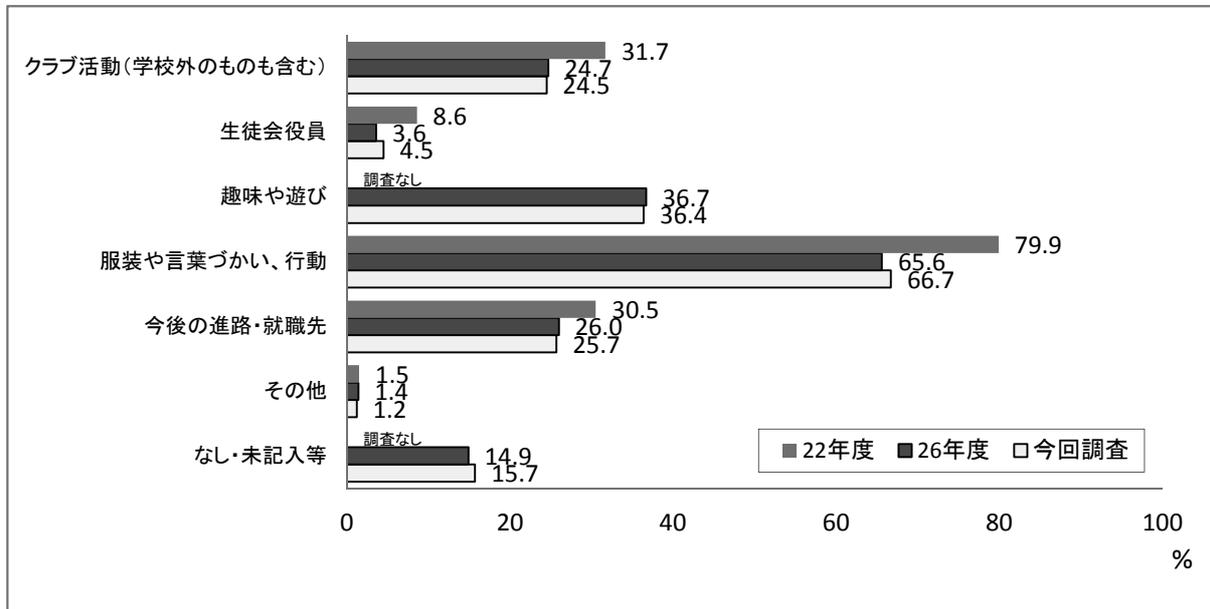
－男女差の大きい項目は、「今後の進路・就職先」－

○「男だから」、「女だから」という考え方が影響するのは、全体、女子、男子とも最も高い項目は、「服装や言葉づかい、行動」で60%以上となっています。

○男女別では、「今後の進路・就職先」が女子は29.9%と男子より8.9ポイント高くなっています。



◇過去調査との比較



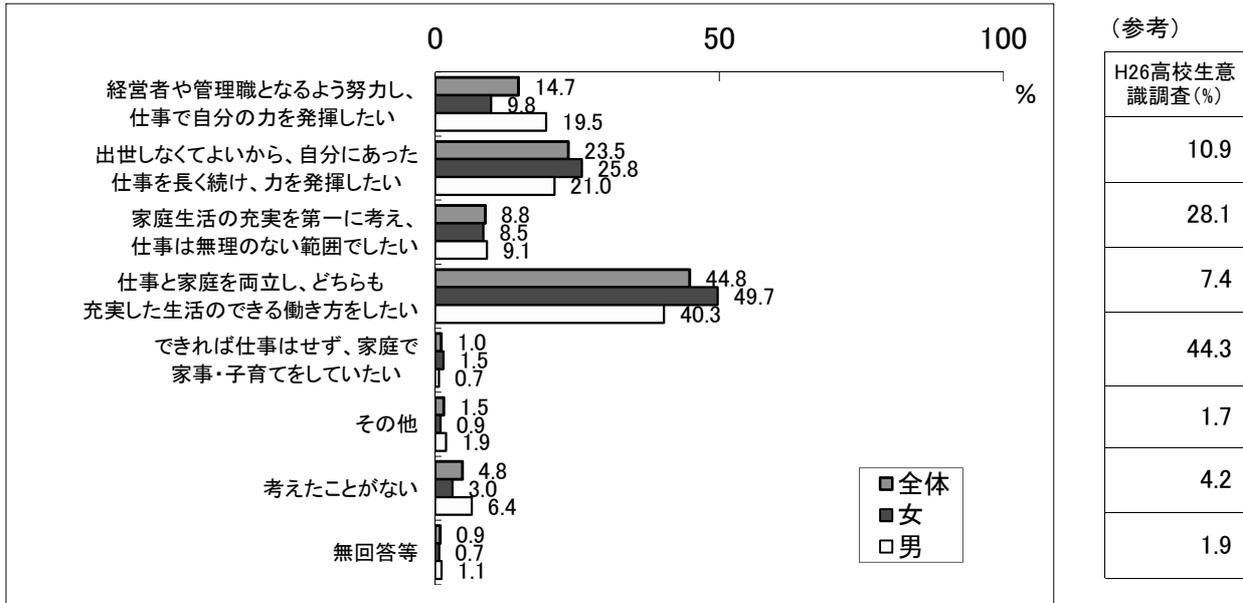
(7) 理想の働き方について

◆あなたが理想と考える将来の働き方はどのようなものですか。

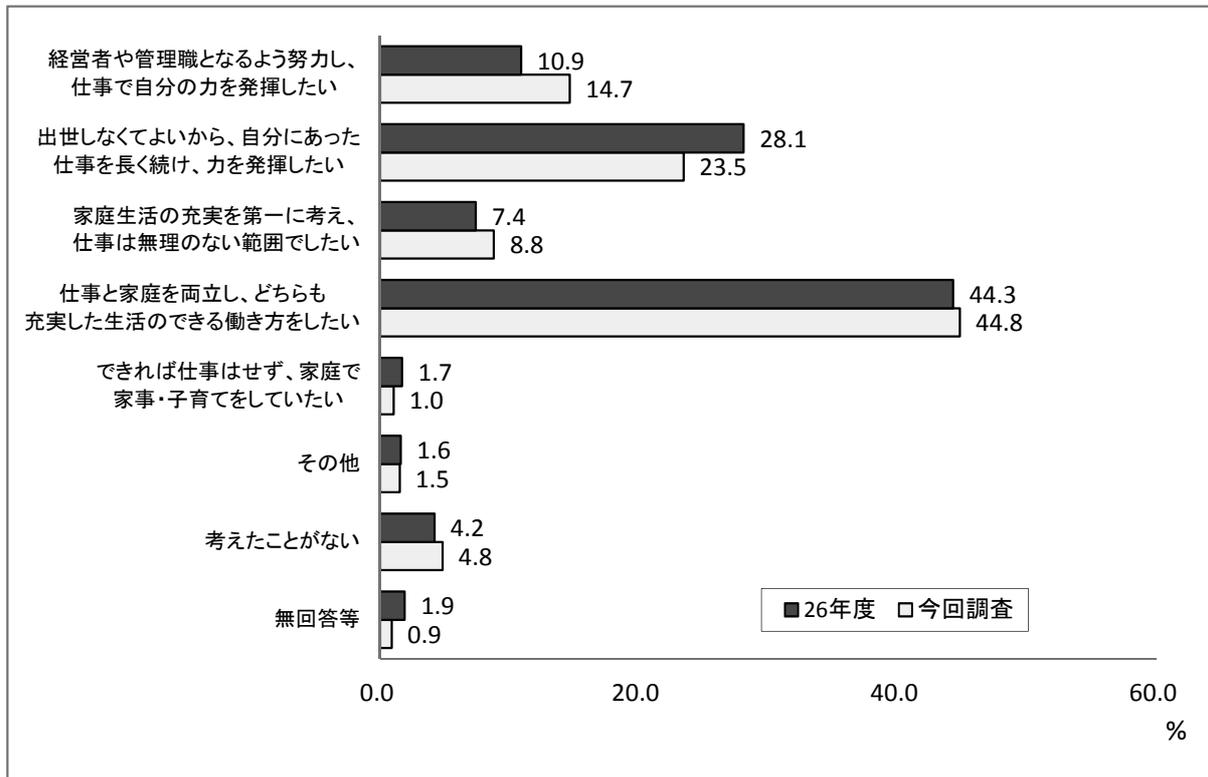
－男女差が最も大きい項目は、「経営者や管理職となるよう努力し、仕事で自分の力を発揮したい」－

○ 全体、女子、男子とも最も高いのは「仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活のできる働き方をしたい」で、約40～50%となっている。次いで、「出世しなくてよいから、自分にあった仕事を長く続け、力を発揮したい」が約21～26%となっています。

○ 男女別では、「仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活のできる働き方をしたい」が女子は男子より9.4ポイント高い一方、「経営者や管理職となるように努力し、仕事で自分の力を発揮したい」が女子は男子より9.7ポイント低くなっています。



◇過去調査との比較



(8) 育児と就業継続の意思について

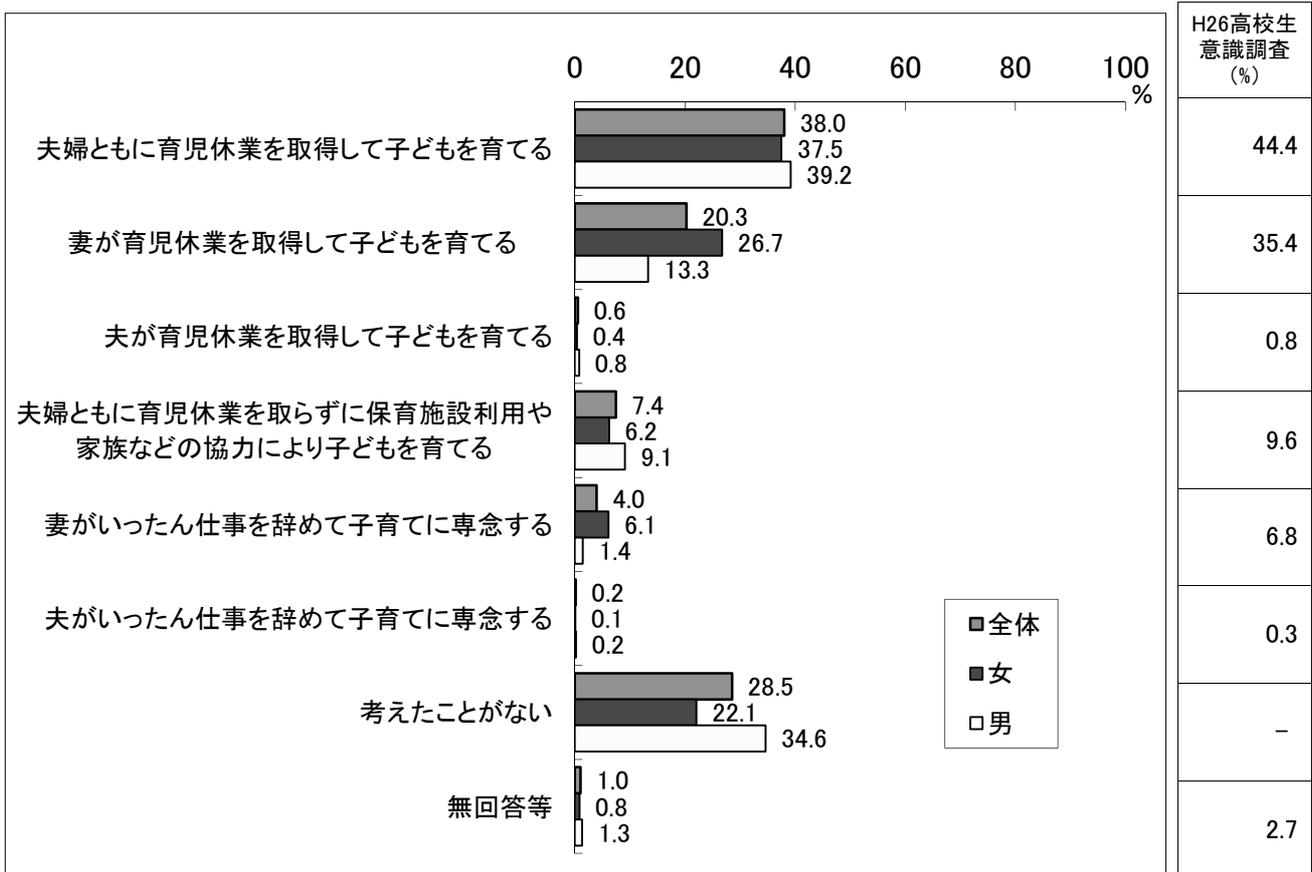
◆もしあなたが将来子どもを持ったとき、子育てをどのように行っていきたくと思いますか。

－「妻が育児休業を取得して子どもを育てる」の割合が20.3%で低下－

○ 男子、女子とも最も高いのは、「夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる」で、次いで「考えたことがない」となっています。

○ 男女別では、「妻が育児休業を取得して子どもを育てる」が女子は男子より13.4ポイント高い一方、「考えたことがない」が男子は34.6%となっており、女子より12.5ポイント高くなっています。

(参考)



(9) 男女平等に関する教育について

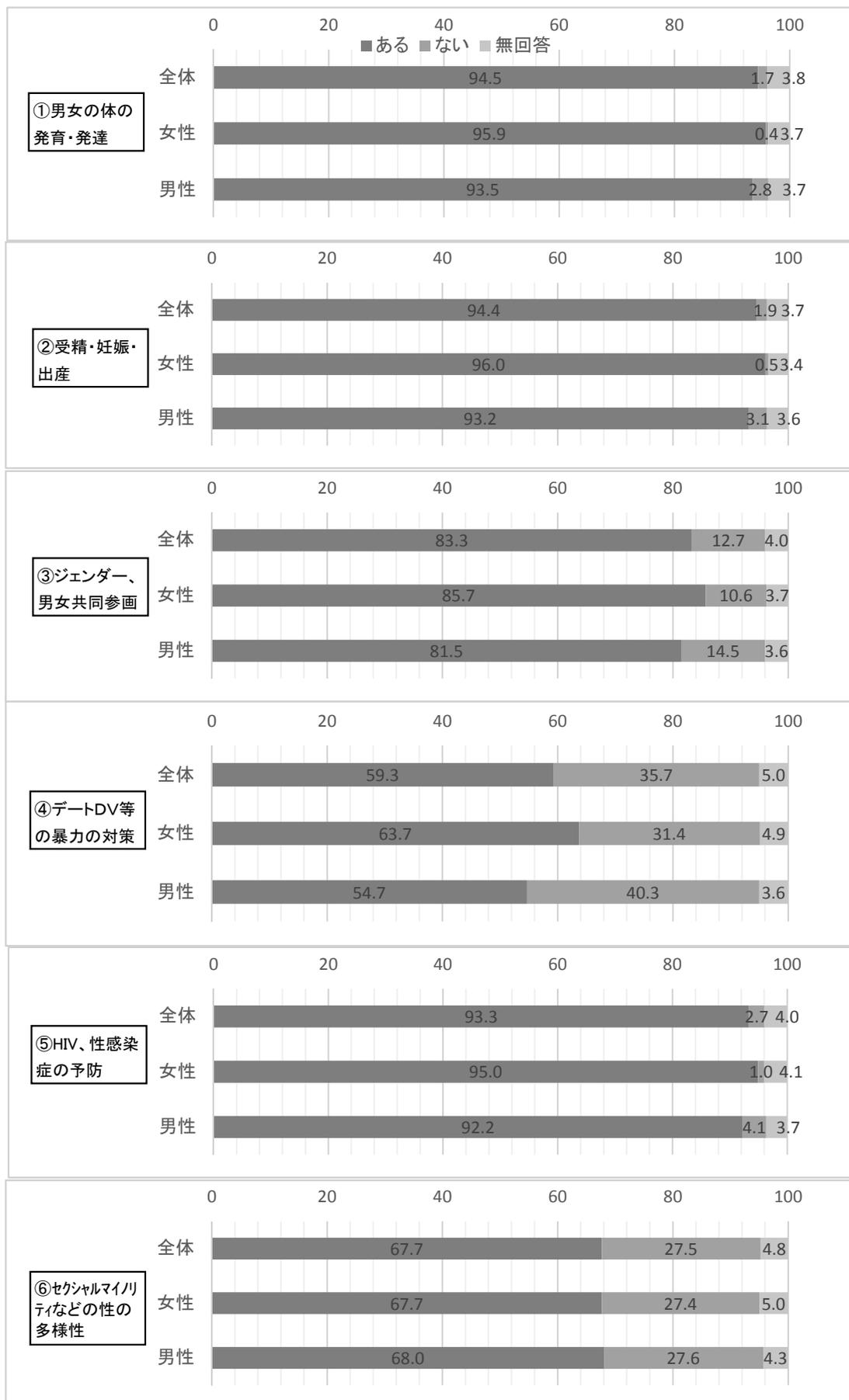
○ 男女の体に関するテーマについては、9割を超える者が学習経験を持つが「④デートDVなどの暴力の対策」や「⑥セクシャルマイノリティなどの性の多様性」については、約6～7割となっています。

○ 「①男女の体の発育・発達」については、主として小学校・中学校の段階で、「⑤HIV、性感染症の予防」については、主として中学校・高校の段階で学びを経験する者の割合が高くなっています。

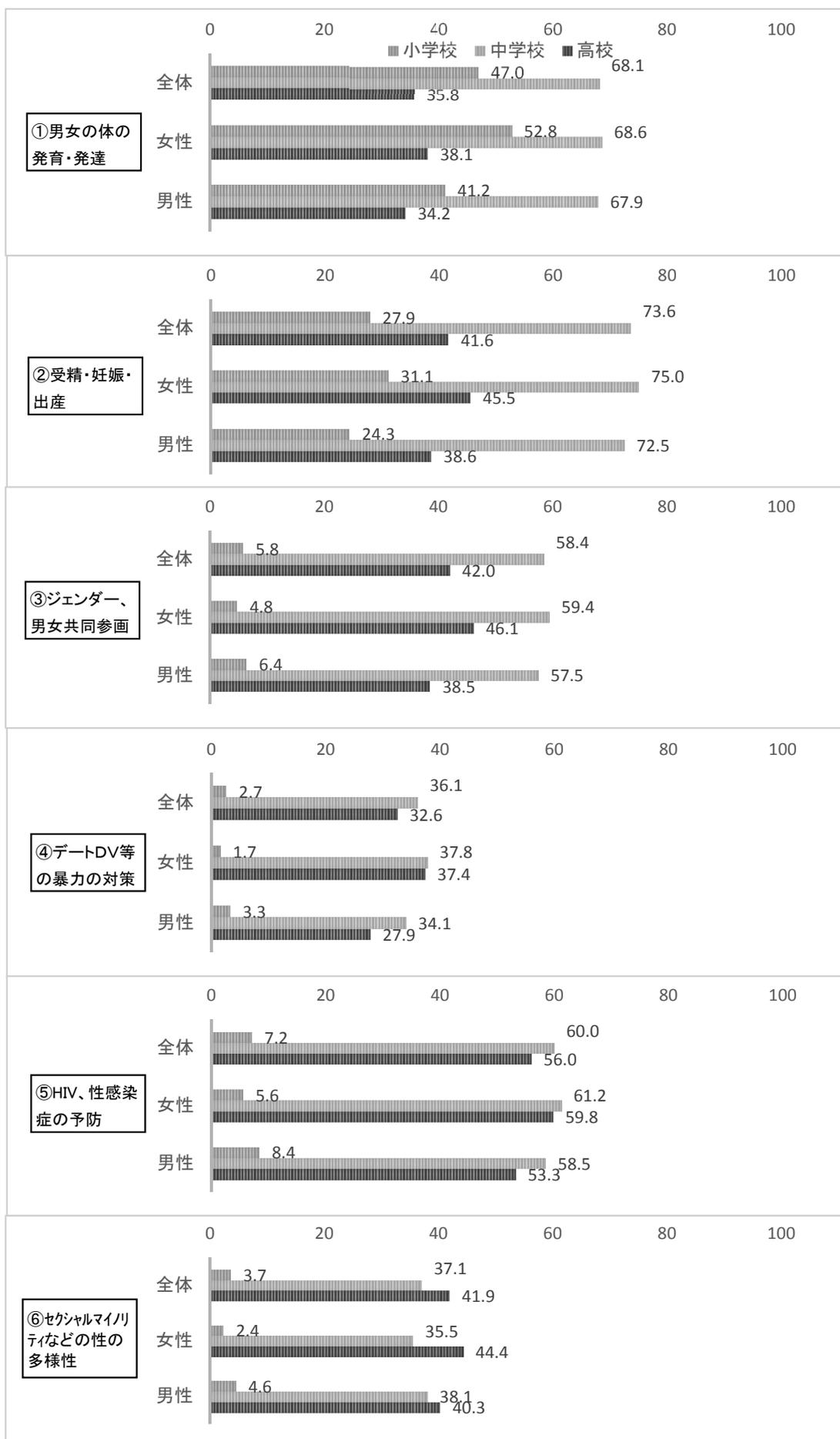
○ 小学校の段階で「③ジェンダー、男女共同参画」、「④デートDVなどの暴力の対策」、「⑤HIV、性感染症の予防」、「⑥セクシャルマイノリティなどの性の多様性」の学習経験が低くなっています。

○ 中学校・高校の段階で、より身近なテーマとなる、「④デートDVなどの暴力の対策」、「⑥セクシャルマイノリティなどの性の多様性」の学習経験は、5割未満となっています。

◆ 次のテーマについて、あなたは学んだことがありますか。



◆学んだことがある場合は、その「学んだ時期」について当てはまると思う番号を選んでください。



(10) 男女共同参画社会について

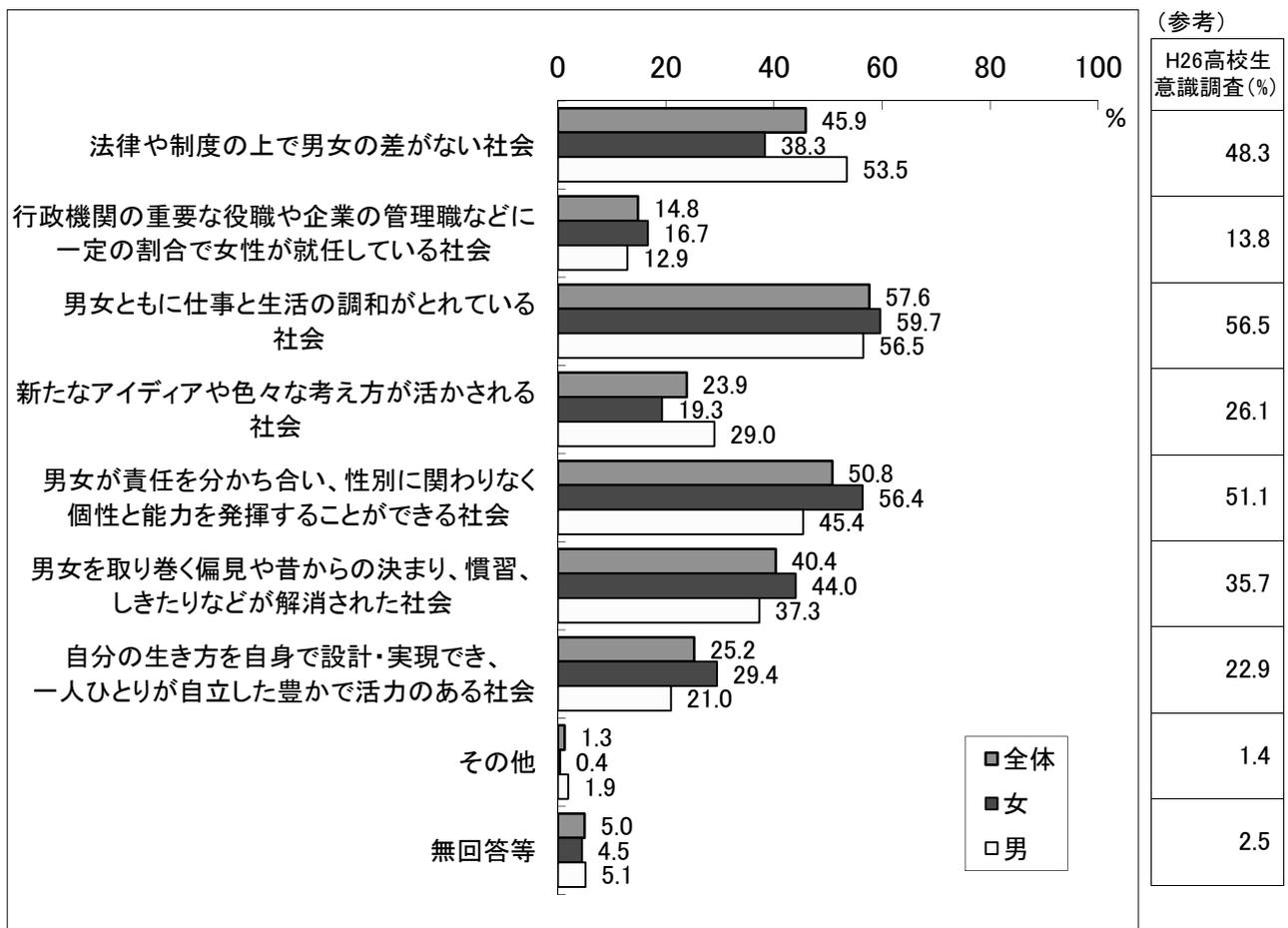
◆「男女共同参画社会」とは、次にあげるような社会であると考えられています。
 この中であなたが実現したい社会はどれですか。

－実現したい社会は、「男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会」－

○ 実現したい社会として、女子、男子とも最も高いのは「男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会」が57.6%で、次いで「男女が責任を分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を發揮することができる社会」が50.8%となっています。

○ 男女ともに最も低いのは「行政機関の重要な役職や企業の管理職などに一定の割合で女性が就任している社会」で、14.8%となっています。

○ 最も男女差が大きい回答項目は、「法律や制度の上で男女の差がない社会」で男子が女子より15.2ポイント高くなっています。



- 問6 あなたの家庭では、次にあげるようなことを主に行っているのは誰ですか。
 あてはまる番号をそれぞれの項目について1つ選んでください。
 ただし、同程度に協力して行っている場合は、その人すべての番号を選んでください。

	母親	父親	自分	きょうだい	その他の 家族	そのような 仕事はない
食事の用意・後片付け	1	2	3	4	5	6
洗濯	1	2	3	4	5	6
掃除	1	2	3	4	5	6
介護	1	2	3	4	5	6
(若い)子どもの世話	1	2	3	4	5	6

- 問7 あなたが次のことを考えるとき、「男だから」、「女だから」といった考え方が影響する（または影響した）と思いますか。
 あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 習い事 | 2 入学する高校・専攻する学科 |
| 3 クラブ活動（学校外のものも含む） | 4 生徒会役員 |
| 5 趣味や遊び | 6 服装や言葉づかい、行動 |
| 7 今後の進路・就職先 | 8 その他（) |

- 問8 あなたが理想と考える将来の働き方はどのようなものですか。
 考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 経営者や管理職となるよう努力し、仕事で自分の力を発揮したい
- 2 出世しなくてよいから、自分にあった仕事を長く続け、力を発揮したい
- 3 家庭生活の充実を第一に考え、仕事は無理のない範囲でしたい
- 4 仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活のできる働き方をしたい
- 5 できれば仕事はせず、家庭で家事・子育てをしたい
- 6 その他（)
- 7 考えたことがない

- 問9 もしあなたが将来子どもを持ったとき、子育てをどのように行っていきたいと思いますか。
 考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる
- 2 妻が育児休業を取得して子どもを育てる
- 3 夫が育児休業を取得して子どもを育てる
- 4 夫婦ともに育児休業を取らずに保育施設の利用や家族などの協力により子どもを育てる
- 5 妻がいったん仕事を辞めて子育てに専念する
- 6 夫がいったん仕事を辞めて子育てに専念する
- 7 考えたことがない

育児休業とは、子どもが満1歳になるまで（共働き夫婦は一定の条件で1歳2か月まで）、夫婦のどちらかが仕事をしていなくても、男性も女性も休みを取得することができる制度です。

問10 次のテーマについて、あなたは学んだことがありますか。また、学んだことがある場合、その「学んだ時期」について当てはまると思う番号を選んでください。

	学びの有無		ある場合、右へ あてはまるすべての 時期の番号に○	学んだ時期		
	ある	なし		小学校	中学校	高校
男女の体の発育・発達	1	2	⇒	1	2	3
受精・妊娠・出産	1	2	⇒	1	2	3
ジェンダー、男女平等参画	1	2	⇒	1	2	3
デートDVなど暴力の対策	1	2	⇒	1	2	3
HIV（エイズ）・性感染症の 予防	1	2	⇒	1	2	3
セクシャル・マイノリティな どの性の多様性	1	2	⇒	1	2	3

問11 「男女共同参画社会」とは、次にあげるような社会であると考えられています。この中であなたが実現したい社会はどれですか。
考えに近いものを**3つまで**を選んでください。

- 1 法律や制度の上で男女の差がない社会
- 2 行政機関の重要な役職や企業の管理職などに一定の割合で女性が就任している社会
- 3 男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会
- 4 新たなアイデアや色々な考え方が活かされる社会
- 5 男女が責任を分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を発揮することができる社会
- 6 男女を取り巻く偏見や昔からの決まり、慣習、しきたりなどが解消された社会
- 7 自分の生き方を自身で設計・実現でき、一人ひとりが自立した豊かで活力のある社会
- 8 その他 ()

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。